

|      |                                                                      |
|------|----------------------------------------------------------------------|
| タイトル | 北海学園大学人文学会第11回大会シンポジウム記録<br>デジタル技術の社会実装 — 地域コミュニケーション<br>と教育における実践 — |
| 著者   |                                                                      |
| 引用   | 北海学園大学人文論集(79): 1-3                                                  |
| 発行日  | 2025-08-31                                                           |

## デジタル技術の社会実装

— 地域コミュニケーションと教育における実践 —

### 会長挨拶

### 講演

#### 第Ⅰ部

田中 克幸(LDP(ローカルデザイン・プロデュース)代表,  
土着なデザイン研究所所長)

「ワークショップ：地域×デザイン」

#### 第Ⅱ部

杉江 聡子(北海学園大学人文学部日本文化学科 准教授)

「AI や VR を活用した中国語教育のデザイン」

谷端 郷(北海学園大学人文学部日本文化学科 講師)・

手塚 薫(北海学園大学人文学部日本文化学科 教授)

「古写真アーカイブを通じた情報教育のデザイン」

#### 第Ⅲ部

全体討論

### 総合司会

柴田 崇(北海学園大学人文学会英米文化学科 教授)

日時 2025 年 1 月 23 日(木曜日) 15:00 ~ 17:00

会場 北海学園大学 8 号館 B42 教室

主催 北海学園大学人文学会

# 北海学園大学人文学会 第 11 回大会

---

## 開会の挨拶

○小松 皆さんこんにちは。第 11 回人文学会へようこそいらっしゃいました。今日は、「デジタル技術の社会実装——地域コミュニケーションと教育における実践——」というテーマで研究会を開きたいと思います。

1 年数カ月前、ChatGPT が一般に公開され、その能力に世界中の人間が驚き、デジタルに興味が無い人たちも含めて生成 AI が無視できない時代がやってきました。私たちも学生たちも生成 AI を使うことが日常になり、その対応をどうしようかと慌てた時期もありましたが、これから生成 AI もしくは新しいデジタル技術を教育に使うにしろ使わないにしろ、それらとどう付き合っていくかを人文学部の教育の上で考えざるを得ない時代になったととらえ、今回はその分野について研究してこられた先生方がこの研究会を企画してくださいました。

今日は厚真町から田中克幸さんがゲストに来てくださっています。田中さんのご紹介は柴田先生がしてくださいます。皆さん、今回の研究会を楽しみましょう。

○司会（柴田、以下同） いよいよ来学期から、人文学部内の情報科目の講義が始まります。科目の増設に加え、既存の科目の中でどう取り組むかという方向もあるかと思います。そのような状況を受けて今回の勉強会を開催いたします。

最初に登壇いただきます田中克幸さんをご紹介します。東京造形大学卒業後、広告代理店に勤務され、酒類・飲料、自動車メーカーの販売促進や広告戦略、商品開発のコンセプトなどを手掛けていらっしゃいました。2018 年、北海道の厚真町に移住し、独立なさいました。現在は、ローカルデザイン・プロデュース代表、土着なデザイン研究所所長でいらっしゃ

います。デザイン思考，デジタルテクノロジー，広告プランニングのノウハウを駆使し，地域×デザインのテーマでご活躍中でございます。

第Ⅰ部では田中さんにご講演いただき，第Ⅱ部では，杉江聡子先生及び谷端郷先生，手塚薫先生にご登壇いただき，人文学部での実践報告をいただきます。第Ⅲ部は全体討論の時間を設けておりますので，ぜひ会場の皆様，積極的にご参加ください。